

- ▶ 小牧市では、木材利用促進やその普及啓発を推進するため、公共施設の木質化や国産材備品の設置を進めている。
- ▶ 今後も引き続き公共施設の木質化や国産材備品の設置に森林環境譲与税を活用していく予定である。

□ 事業内容

健康増進施設整備事業（健康増進施設用備品購入）

- ・健康習慣化サポート施設「ヘルスラボ・こまき」のテーブルや椅子等の備品に国産材を使用。

【事業費】6,083千円（うち譲与税6,083千円）

【実績】木材使用量1.99m³（うち国産材1.99m³）

□ 取組の背景

- ・まなび創造館内に開設した「ヘルスラボ・こまき」は、健康習慣化サポート施設として位置づけられている。
- ・健康意識の高い来館者が訪れる公共施設に国産材を使用することにより、木材利用の意義、効果の普及啓発につながると期待した。



(全体)



(椅子)



(ディスプレイ棚)

□ 工夫・留意した点

- ・木の香りは、心理的な効果は勿論、血圧を低下させる等、身体をリラックスさせる作用もあるといわれている。そのため、身近に木材の良さを感じてもらえるよう、テーブルや椅子等といった備品に国産材を使用した。

□ 取組の効果

- ・一步施設内に入ると、ふわっと木の良い香りが感じられ、癒しや落ち着きの効果があることを実感する。また、木材の持つ暖かみや居心地の良い色調により、視覚的にもリラックス効果が期待できる。
- ・直接、木の香りや温もり、柔らかさといった国産材特有の良さに触れられる施設になった。それにより、健康意識が醸成されるといった相乗効果も期待される。

◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：17,747千円	②私有林人工林面積（※1）：113ha
③林野率（※1）：10.7%	④人口（※2）：148,831人
⑤林業就業者数（※2）：3人	

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より